

## オープンカテゴリー

テーマ「ロボットで旅行の楽しさを伝えようーあなたの国や文化遺産をロボットで紹介」

### 1. ルール

- ・1チームとしてはレギュラーカテゴリーかオープンカテゴリーのどちらかだけに参加できる。
- ・競技は小学生・中学生・高校生部門の3つのカテゴリーで行われる。
- ・レゴ部品と他の材料との割合に制限はない。ただし、どのロボットも RCX または NXT コントローラーとなんらかのソフトウェアで制御されていなくてはならない。
- ・ロボットは事前に組み立てておいてよい。プログラムは事前に作っておいてよい。
- ・ブースのサイズは 2000mm×2000mm×2000mm である。
- ・テーブルのサイズは 1200mm×600mm の予定である。
- ・オープンカテゴリー参加チームは次の過程を経ること。
  - ・最終組み立てとテスト
  - ・ポスターでブースを飾り付け
  - ・審判にデモンストレーションおよび審判からの質疑応答
- ・各チームはロボットの説明をまとめたレポートを提出すること。その中にロボットがどのようにユニークなのかを説明していること。
- ・紙で審判にレポートを提出すること。
- ・図・写真・ビデオなどで、異なる角度からのロボットと、プログラムの例を視覚的に説明する物を提出すること。
- ・各チームは登録の指示に従ってビデオを提出すること。(最大2分間)
- ・各チームは最低 1200mm×900mm のサイズのポスターを1枚以上ブースに貼り出すこと。ポスターは観客にロボットを紹介するものであること。

### プレゼンテーション

1. 審査は、小・中・高のカテゴリー別に行われる。
- 2.各チームに10分の持ち時間がある。5分間でロボットの説明とデモンストレーション。残りの2～5分間で審判からの質疑応答。

### カテゴリー別判定基準

1. ビデオ審査：合計 30 ポイント
  - ・デザインがテーマに沿っているか。
  - ・ロボットが創造的なデザインと構造であるか。
  - ・プレゼンテーションの質。
2. 最も創造的なデザイン 合計 40 ポイント
  - ・創造的な外見。
  - ・ユニークで複雑で相互作用的な動き。
3. 最も技術的なデザイン 合計 20 ポイント
  - ・工学的に優れている。
  - ・安定した構造。
4. 最も優れたプレゼンテーション 合計 40 ポイント
  - ・上手で安定感のあるデモ。

## WRO Japan2010 オープンカテゴリーVer.1.0

- ・チームスピリットとエネルギーが高い。
- ・プレゼンテーション、ポスター、レポートの明確な意図。

### 5. 減点ポイント 合計 30 ポイント

- ・RCX または NXT を未使用。
- ・ポスターなし。
- ・レポートなし。
- ・与えられた展示スペースの最大限を超えた場合。

明らかにテーマに沿っていない場合、最終得点として 0 点を付ける。

### レギュラー及びオープンカテゴリー判定ルール

1. 審判は競技中、最終的な権限を持つ。
2. 納得がいかない場合や、不満、訴え（すべて英語でおこなうこと）は、（レギュラーカテゴリーでは）得点表へのサイン前に、あるいは（オープンカテゴリーでは）審判がブースを離れる前に審判に直接行わなくてはならない。
3. 万が一、チームが審判の裁定を受け入れられない場合、ヘッドジャッジが最終的判断を下す。ヘッドジャッジが訴えを出しているチームと同じ国籍の場合、協議中の代理ヘッドジャッジを設ける。
4. あるチームが審判とヘッドジャッジにより失格と見なされた場合、そのチームは直ちに試合を終了し、得点は得られない。
5. 得点表は、該当チームによりサインされた後は変更できない。ただし、得点表に明確な誤りがあった場合を除く、最終発表前にそのチームに知らされる。
6. お土産や記念品といった贈り物を誰かに与えるチームがあるかもしれない。贈り物は判定に影響しない。
7. レギュラーカテゴリーで得点表にサインした後の、あるいはオープンカテゴリーで審判がブースを離れた後の、いかなる不満や訴えも、実際の得点に影響しない。しかし、この不満や訴えは、WRO 運営委員会に伝えられることはある（おそらくコーチミーティングを行う人物を通じて）。WRO 運営委員会はその件を調査し、今後の WRO 競技会に必要な手だてをとる。
8. もし得点表の変更が必要な場合、チームには直ちに知らされる。